

特集Ⅰ 戦争を峻拒する、非暴力大衆闘争の思想

特集にあたって
沖繩の米軍犯罪の根を問いつつ
沖繩にいかにつながるか
沖繩の戦後史から学んだこと

本誌編集部
目取真俊
鹿野政直
崔悠純
作家
早稲田大学
名誉教授
朝鮮大学校生

●巻頭エッセイ・春夏秋冬

しゅんかしゅうとう

琉球弧の島々で進行する戦争準備
差別が公然と一人権も危険水域に
在日韓国人「政治犯」全員の再審無罪判決
女性の力・地域の力

宮古平和運動連絡協議会
ピースアクション宮古島代表
部落解放同盟
広島県連顧問
韓国良心心を支援する会
全国会議事務局長
清瀬市議会議員

清水早子
小森龍邦
石井寛
布施由女
12
14
15
17

〈労働者通信〉労働・生活・闘争の現場から
若者の組合はなれをどうするのか
組合員が減少する自治体職場での闘い
福島第一原発事故の避難指示解除に当たって
桜井勝延市長の歴史的責任を問う

既存の労働組合を
どう強化するか
全司法労働組合
横浜市従業員労働組合

藤本愛子
吉良寛
20
23
24

特集Ⅱ 朝鮮敵視と日本の植民地支配の歴史を糾す

米韓合同軍事演習に対峙する朝鮮はいま

「独自制裁」発動後に平壤と開城を訪れて

歴史学博士
白宗元
28

『帝国の慰安婦』事態と日本の責任

日本軍「慰安婦」問題と「二二〇」の歴史修正主義

明治学院大学
准教授
鄭栄桓
50

加速する「知識人」の知的・道徳的頹廃

「忘却のための和解」帝國の慰安婦と日本責任「慰安婦問題」現在と知識人を問う

本郷文化フォーラム
女性労働研究会
倉田智恵子
76

〈インターナショナル・レビュー〉 ●EU国民投票の結果に関するイギリス共産党の声明

●EU離脱に関するイギリスの国民投票の結果について ●欧州連合と資本主義の危機 ●ギリシャからの教訓(エリセオス・バゲナス) ●社会主義への道「議会への道」に関するレーニン主義の批判の適時性 ●ベネズエラの労働者階級ならびに人民階層との連帯 ●ギリシャ共産党からベネズエラ共産党へのメッセージ ●共和国の平和と安全を侵害するいかなる行為も絶対に許さない ●朝鮮人民軍総参謀部砲兵局が警告 ●朝鮮半島の平和と自主統一のための北、南、海外の諸政党、団体、個人、連席会議北側準備委員会が南の各界人士に送った公開書簡

●ハン・サンギョンを釈放せよ！ 民主主義を生き返らせよう！ 時局会議の宣言文

81

〈ヘイト・スピーチと闘うために〉③

川崎ヘイト・デモ事件の論点

〈ヘイト・デモの「事前規制」をめぐる〉

東京造形
大学教授
前田朗
118

〈続・拉致問題で歪む日本の民主主義〉④
手詰まりの最大要因は頑迷固陋な横田早紀江氏
にある、と指摘できないマスコミの不甲斐なさ！

琉球大学
名誉教授
高嶋伸欣
144

〈状況2016夏〉

政治 成長する軍産複合体
映画 二ホロコーストの真実に挑んだTV報道
美術 二ゲルニカと藤田の戦争画

なぜ国民の「不安感」
を醸成するのか
「エイレン・シヨ」文化活動家
一九七〇年独伊空軍、
スペインゲルニカの街を空爆
ドキュメンタリスト
埼玉大学教員
吉沢弘志
岡野奈保美
笹木繁男
128
134
138

ベルトルト・ブレヒト
『ガリレイの生涯』を読む

文化活動家
井野茂雄
98

〈研究ノート〉
宮本百合子の戦中・戦後(上)

「婦人と文学」(一九四七)を読む

戦後文学ゼミ会員
HOWS
松岡慶一
162

〈読書ノート〉
下幸洙著『朝鮮半島と日本の詩人たち』

HOWS受講生
伊藤龍哉
152

佐藤 真著『日常と不在を見つめて』

映画研究
遠藤裕二
154

原 武史著『昭和天皇実録』を読む

HOWS受講生
飯島聡
156

大西鐵之助著『闘争の倫理』

スボーツの
教育労働者
藤原晃
158

BOOK WATCH

「平和の少女像」はなぜ座り続けるのか(日本軍「慰安婦」問題メモサイト)
制作委員会編 岡本有佳/金富子 / 『月刊イオ』(月刊イオ)編集部 / 『安
全な翼を求めて』(山口宏弥著)

160

〈短歌〉
空のモチーフ

歌人
加部洋祐
27

〈川柳〉笑歌
のぼり(シユベルト)

笑い茸
48

〈連載〉

〈放射能汚染と何かい
合ったための基礎知識〉⑧

東日本大震災・壊滅
地区復興委員だより

金野正晴
75

〈原発事故被災者の声〉⑫

今中哲二
97

波来土の漫画館

波来土
133

〈表紙の絵について〉
『無題』(二〇一五年)、鉄

彫刻家
渡邊多計志
17

〈読者会から〉 東京西部

173

〈デザイナーの独り言〉

追川恵子
176

編集後記
176

表紙デザイン・追川恵子 イラスト・金山政紀

